

課題番号6

基本方針：Ⅲ		課題名：意欲ある担い手の育成・確保	
対象：就農希望者および新規就農者		計画期間：H30～R2	
		事務所名：東部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R1年度末）	
①新規就農者の育成・確保 1) 新規就農予定者への就農支援 2) 新規就農者の定着フォローアップ	青年等就農計画の作成支援 新規就農フォローアップ相談 新規就農者情報交換会 経営講座	青年等就農計画の認定者数 累計9名 → 累計10名	
②集落営農組織の育成	計画作成指導 コムギ栽培指導 会議、講習会	集落営農数 0団体 → 1団体	

総合評価(コメント)

A: 4名

- 対外的に軟弱野菜生産の魅力のPRを。さらに新規就農者増加のために進めて下さい。
- 奈良県農業の将来を考えるうえで避けて通れない課題。
本活動計画としては最終年ではあるが、今後も積極的に取り組んで頂きたい。
- 営農組合の活動は非常に良い結果であると思う。
- 簡単ではないが、継続的な支援によって1人でも多くの新規就農者、一つでも多くの集落営農組織の成功体験を積み上げてほしい。

B: 1名

- 奈良県の農業には、新規就農者の確保が欠かせません。今後共、新規就農者が奈良県に定着できるような支援を継続してもらいたい。

C: 1名

- 内容がわからない部分があり、取組み方法など具体策に欠けるような取組みに感じます。

普及指導計画への反映状況等

■ 本課題は3カ年計画の最終年度のため、令和3年度より内容を継続し新規課題「意欲ある担い手育成・確保」として取り組む。新規就農者の確保は現状の相談、計画作成支援活動を継続するとともに、曾爾村・御杖村の地域おこし協力隊を支援し、就農に向けた講習会を実施する。また新規就農者の定着に向け、青年等就農計画の終期を迎えた者、迎える者に面談を実施し、経営改善計画申請に向けた指導を行う。
軟弱野菜生産のPRは、重点課題「耕種的防除技術やスマート農業技術の導入による軟弱野菜の生産性の向上」の中でスマート農業等技術導入をサポートし、効率的で魅力ある生産品目として新規就農者確保に努める。

- 集落営農組織に対しては、組織発展と維持継続のために法人化を目指す計画を立てた。